

圏央道アクセス道路整備アクションプラン

令和元年5月31日更新
茨城県道路建設課
道路維持課

1 背景

2017年2月に圏央道の県内区間が全線開通し、東名高速から東関東道までの首都圏の6本の放射状高速道路が、圏央道を通じて結ばれたところです。これまでの東京を中心とした放射状の人や物の流れに、環状の流れが新たに加わったことで、企業立地が進むとともに、観光客が増加しているほか、茨城港や鹿島港、茨城空港も利用しやすくなるなど、本県にとって非常に良い影響が表れてきています。

このような中、2017年12月に県内区間を含めた東北道から東関東道までの4車線化について、2022年度から順次供用し、2024年度に全線が供用するとの見込みが発表され、今年度から事業が進められております。圏央道の4車線化により、更なる企業立地の促進や広域的な交流の拡大などが期待されます。

一方、圏央道をより利用しやすく、整備効果を最大限に発揮させるためには、アクセス道路の整備が重要となります。現在、圏央道にアクセスする道路については、多くが部分的な供用にとどまっていることから、整備を更に加速していく必要があります。

2 目的

圏央道の4車線化整備に併せて、アクセス道路整備を重点的・計画的に進めることとします。

3 整備を進める主な箇所

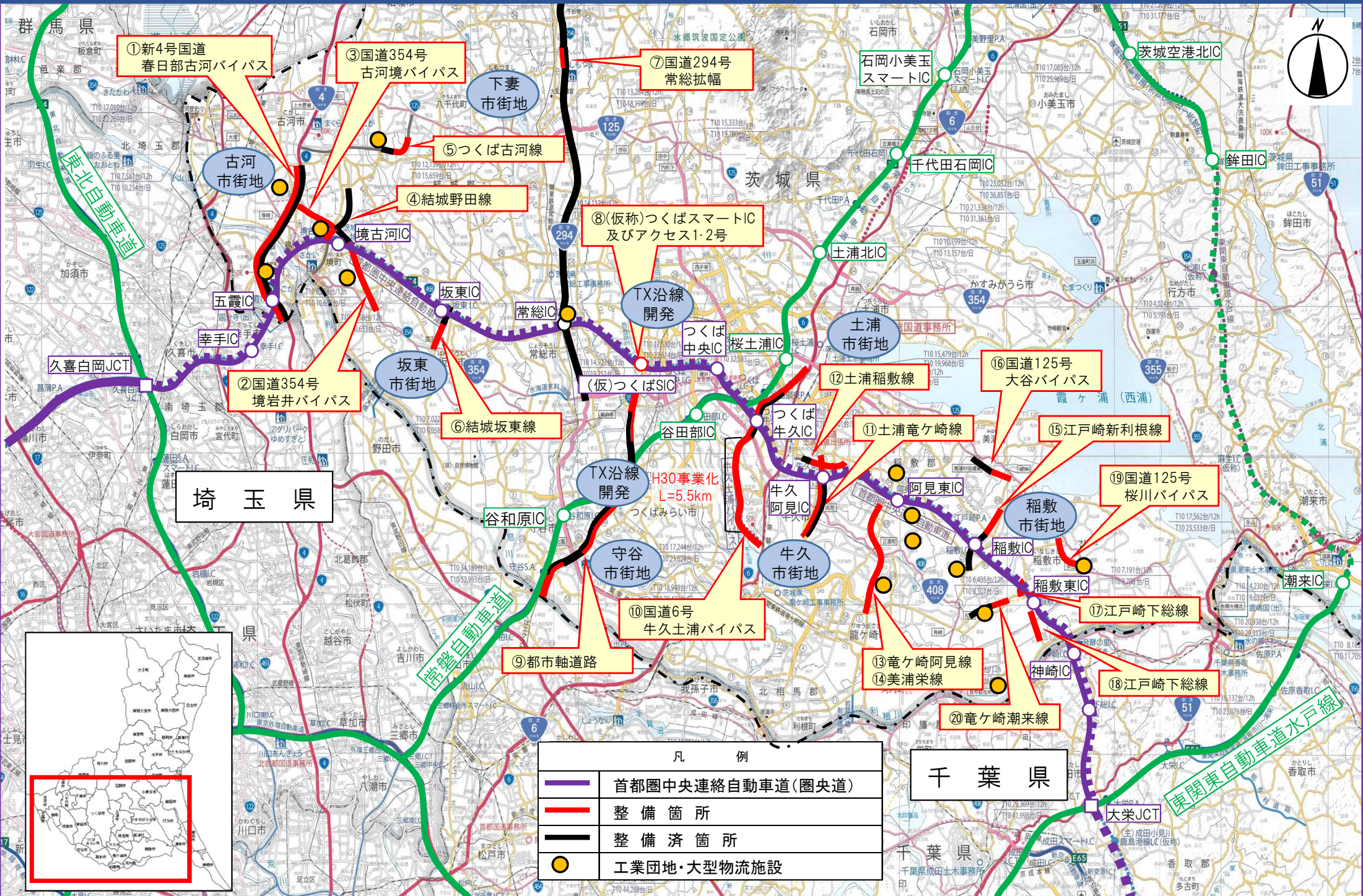
・2024年度（圏央道4車線化）までに供用を目指す箇所

接続IC	箇所名	事業延長	整備主体	目標	備考
五霞IC	① 新4号国道春日部古河BP*	L=11.2km	国	部分供用	4車線→6車線化
境古河IC	② 国道354号境岩井BP	L=6.3km	県	部分供用	
	③ 国道354号古河境BP	L=3.2km	県	部分供用	
	④ 結城野田線	L=5.9km	県	完成供用	
	⑤ つくば古河線	L=2.0km	県	完成供用	
	坂東IC	⑥ 結城坂東線	L=3.0km	県	完成供用
常総IC	⑦ 国道294号常総拡幅	L=27.5km	県	完成供用	
(仮)つくばスマートIC	⑧ つくばSICアクセス1・2号	L=0.5km	市	完成供用	
	⑨ 都市軸道路	L=15.6km	県・市	部分供用	
つくば牛久IC	⑩ 国道6号牛久土浦BP*	L=15.3km	国	部分供用	
牛久阿見IC	⑪ 土浦竜ヶ崎線	L=5.4km	県	完成供用	
	⑫ 土浦稲敷線	L=3.3km	県	部分供用	
阿見東IC	⑬ 竜ヶ崎阿見線	L=3.1km	県	完成供用	R1新規事業
	⑭ 美浦栄線	L=3.3km	県	完成供用	R1新規事業
稲敷IC	⑮ 江戸崎新利根線	L=4.5km	県	完成供用	
	⑯ 国道125号大谷BP	L=2.6km	県	完成供用	H30.12 L=0.6km部分開通
稲敷東IC	⑰ 江戸崎下総線	L=1.5km	県	完成供用	
	⑱ 江戸崎下総線	L=2.7km	県	完成供用	R1新規事業
	⑲ 国道125号桜川BP	L=2.4km	県	部分供用	
	⑳ 竜ヶ崎潮来線	L=3.3km	県	部分供用	

※整備促進について、国へ働きかけていきます

- ・上記路線全体の事業費は、約500億円（新4号国道・国道6号・都市軸道路を除く）
- ・上記の目標は、いずれも用地が速やかに取得できた場合
- ・上記路線の他に、関連する市町村道の整備も積極的に推進

圏央道アクセス道路整備 位置図



①新4号国道
春日部古河バイパス

③国道354号
古河境バイパス

⑦国道294号
常総拡幅

⑤つくば古河線

④結城野田線

⑧(仮称)つくばスマートIC
及びアクセス1・2号

②国道354号
境岩井バイパス

⑥結城坂東線

TX沿線
開発

⑫土浦稲敷線

⑬土浦竜ヶ崎線

⑮江戸崎新利根線

埼玉県

H30事業化
L=5.5km
つくばみらい市

⑪土浦竜ヶ崎線

⑯国道125号
大谷バイパス

⑨都市軸道路

TX沿線
開発

⑫土浦稲敷線

⑰江崎下総線

⑲国道125号
桜川バイパス

⑩国道6号
牛久土浦バイパス

⑬竜ヶ崎阿見線

⑱江崎下総線

⑲国道125号
桜川バイパス

⑨都市軸道路

TX沿線
開発

⑭美浦栄線

⑱江崎下総線

⑱国道125号
桜川バイパス

⑮土浦竜ヶ崎線

⑲江崎下総線

⑲国道125号
桜川バイパス

⑯土浦竜ヶ崎線

⑲江崎下総線

⑲国道125号
桜川バイパス

凡 例	
	首都圏中央連絡自動車道(圏央道)
	整備箇所
	整備済箇所
	工業団地・大型物流施設

千葉県

東関東自動車道水戸線